News Release

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

2021 年 12 月 17 日

本年 10 月 29 日にご案内した有限会社すみとも商店、ロワ・ジャパン有限会社のコードレス掃除機用非純正のバッテリーパックについて掃除機運転による放電を御願いします

本年 10 月 29 日、有限会社すみとも商店、ロワ・ジャパン有限会社が輸入した、ダイソン株式会社のコードレス掃除機に取り付けできる非純正のバッテリーパックについて、充放電をしていない保管状態であっても発火のリスクがあることから、対象製品をお持ちの方には、使用の中止と、廃棄をせずに安全な方法で保管するようお願いをしております。

これまで(独)製品評価技術基盤機構(以下、NITE という。)において様々な検証を重ねた結果、下記1. に記載の掃除機運転による放電によって、バッテリーパックは安全な状態となり、発火に至らないことが確認されました。

つきましては、下記1. を御確認いただき、手順に従って放電を実施していただきますようお願いいたします。放電終了後、

① 有限会社すみとも商店のバッテリーパックについては、当該事業者が既に倒産しているため、ご家庭等からのものは、お住まいの市区町村の廃棄方法等に従って廃棄してください。事業活動に伴うものは、産業廃棄物に該当しますので、産業廃棄物として廃棄してください。

② ロワ・ジャパン有限会社のバッテリーパックについては、同社が回収対応しますので、同社による案内に従ってください。

1. 掃除機運転による放電について

- NITE における検証の結果、**当該バッテリーパックは掃除機運転によって放電することで安全な状態となり、発火に至らない**ことが確認されました。
- また、**掃除機運転をすることによって、発火のリスクが高まることはない**ことも確認されております。
- 現時点で推定されている事故メカニズム及び、掃除機運転による放電方法に関する安全性についての詳細は、別紙(NITE 資料)をご参照ください。

具体的には、以下の手順に従って、放電してください。
(なお、これまで屋外に保管していた等、バッテリーパックが水に濡れている可能性がある場合や掃除機本体をお持ちでない場合は、掃除機運転による放電は行わず、(注 2)に示す方法に従ってください。)

【掃除機運転による放電方法】

① まず、**シンクや可燃物のない屋外**等に、**水(常温)を張ったプラスチック製バケツ**をご用意ください。(**水は 2 リットルペットボトル約 2 本分程度**入れます。)

② 充電式掃除機にバッテリーパックを装着してください。この時、**固定用のビスは絶対に留めないでください。**

③ 手のひらと指でバッテリーパックの底面と上面をはさみこむように片手をあてがい、**バケツの上で掃除機を運転**(モード選択できる場合は中程度)します。

④ そのまま、電池切れになる（バッテリーパイロットランプが点滅）まで掃除機を動かす（10～20 分程度）ことによって、放電状態とします。

→ 「2. 放電後の対応について」を御確認いただき、廃棄等の対応を御願いします。

※掃除機による放電を行う場合には、小さなお子様が近づかないよう十分ご注意ください。

（注 1）上記手順の間、次の異常を1つでも認識した場合には、即座に運転を中止し、バッテリーパックを取り外してバケツに投入してください。

・発煙（掃除機の運転ボタンや、固定用ビスの穴からの発煙が想定される）
・異臭（焦げ臭いにおい）
・異常な温度上昇（通常は 40℃程度） やけどには十分ご注意ください。

この場合、放電しきっていない可能性があります。
引き続き安全に放電するため、以下の対応（塩水処理）を行ってください。

①水没させたバッテリーパックを取り出さずに、約 120 グラムの塩※（大さじ 8 杯程度）を水に投入し、軽くかき混ぜて溶かします。
※塩水濃度を 3%程度にしてください。

② そのまま保管してください。4 日程度でバッテリーパックが放電状態になります。
（上記作業は、屋外など換気のよい場所で行って下さい。また、金属のサビ等が溶出した汚水となるため、バッテリーを取り出す際や、廃液や沈殿物を捨てる際には、念のためゴム手袋等を装着し、素手で触れないようご注意ください。）

（注 2）バッテリーパックが濡れていて掃除機運転による放電ができなかった場合や掃除機をお持ちでない場合も、（注1）と同様に、**水（常温）4 リットルに塩約 120 グラムを溶かした塩水※をプラスチック製バケツの中に用意**し、**4 日程度水没させることで放電状態**としてください。
※塩水濃度を 3%程度にしてください。

2. 放電後の対応について

上記方法によって放電が終了しましたら、以下のとおり御対応ください。

（1）有限会社すみとも商店のバッテリーパックについては、当該事業者が既に倒産しているため、ご家庭等からのものは、お住まいの市区町村の廃棄方法等に従って廃棄してください。事業活動に伴うものは、産業廃棄物に該当しますので、産業廃棄物として廃棄してください。

（2）ロワ・ジャパン有限会社のバッテリーパックについては、同社が回収対応します。同社回収対応時に、放電確認（ランプ点滅）の動画が必要となりますので、録画をしていただき、同社から送付されるメールの案内に従って下さい。

ロワ・ジャパン有限株式会社の URL https://www.rowa.co.jp/pages/dc62-notify

メール問合せ先 info@rowa.co.jp

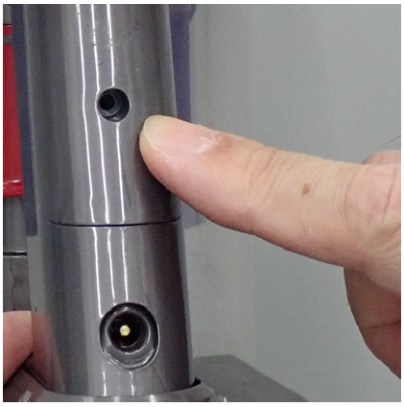
※放電が完了すれば、製品保管上また廃棄物処理上（収集運搬、破砕、焼却、埋立て等の処分等）において、当該バッテリーパックは発火に至らないことが確認されています。

※当該バッテリーパックを**再度充電し、使用を継続することは絶対にしないでください。**

（参考1）掃除機運転による放電方法について

①水を張ったバケツを準備

②バッテリーを掃除機に装着



③ビス留めは行わない

④手のひらをバッテリー底面、
指をバッテリー上面にあてがう

運転中、パイロットランプは［点灯］します。電池切れになると、パイロットランプが［点滅］状態になります。

⑤バケツの上で、電池切れになるまで掃除機を運転

→　電池切れまで放電しましたら、**廃棄等の対応を御願いします。**

※水を張ったバケツは念のために用意するものであり、電池切れまで放電した場合は、バッテリーをバケツの中の水につけないようにお願いします。

(参考 2)対象製品について

火災事故の発生が確認されたバッテリーパックには、以下のとおり、(Orange Line DC60、ROWA･JAPAN DC62)表示がされています。

対象製品の写真

＜有限会社すみとも商店のバッテリーパック＞

バッテリー本体

表示部

＜ロワ･ジャパン有限会社のバッテリーパック＞

バッテリー本体

表示部

(本発表資料のお問合せ先)
産業保安グループ製品安全課
製品事故対策室長　望月
担当:関根、門田、田代
電話:03-3501-1511(内線 4311～3)
03-3501-1707(直通)
03-3501-2805(FAX)